



平日は晴れた日のお昼、2 限と 3 限の間にシフト制で集まり、大隈庭園内の田んぼ「わせでん」と菜園の管理を行っています。水やりや成長記録が終わった後は、3 限が空いているメンバーでご飯に行くこともあります。土日や長期休み期間には農家さんに訪問して農業体験を行います。訪問する場所は神奈川や茨城、埼玉など関東近郊で、作業の後には採れた作物を使ったおいしいご飯を頂くこともあります。また、地域にまつわるボランティア活動として、援農ボランティアだけでなく、子供への自然教育や、里山の景観保全、新宿名産の野菜の PR 活動など多様な活動を行っています。

◆活動計画

- 4 月 新歓、田起こし、代かき、野菜栽培 (通年)
 - 5 月 田植え(幼稚園・ステップ学級合同企画)
 - 6 月 ザリガニ釣り(幼稚園・ステップ学級合同企画) 内藤とうがらし定植
 - 7 月 ネット張りのーじゅく食堂 8 月 合宿* 9 月 内藤とうがらし収穫祭
 - 10 月 稲刈り(幼稚園・ステップ学級合同企画) 11 月 稲の脱穀、収穫祭
 - 2 月 寒起こし、土作り 3 月 合宿*
- 農家訪問、果物狩りなど、その他企画随時開催 / *印は 2019 年度以前の活動実績

◆Episode

「早稲田”なのに、なぜ”田”んぼがないのか？」この素朴な疑問から、私たち農楽塾は発足しました。そうして誕生した大隈庭園にある早稲田の「わせでん」を中心に幅広く活動してきました。発足から 20 年たった農楽塾はわせでんでの稲作に加え、様々な活動を行ってきました。早稲田キャンパス南門で行っているバケツ稲の栽培は一般認知度も高く、南門のいち風景として馴染んできています。内藤とうがらしプロジェクトでは、東京都や複数の学校とチームを作り、絶滅しかけていた江戸野菜の復興に力を入れてきました。昨年度からは留学生の受け入れを開始し、年齢や言語、背景や職業も違う多様な人と農業を通じて交流することができます。「農を楽しみ、農を考える」のモットーをもとに、これからも活動を続けていきたいと思っています。

- | | |
|---------|---------------------------------------|
| 問い合わせ先 | nogakujuku@yahoo.co.jp |
| メンバー数 | 80 人 |
| 参加費用 | 通年 3,000 円 |
| 活動時期・頻度 | 通年 活動日は、月曜日～金曜日の昼休みと、土日に各種農業体験、ボランティア |

